

まちづくりを支える下水道事業の整備促進及び老朽化対策のための予算確保について

【担当省庁】国土交通省

頻発する集中豪雨による内水被害を軽減するため、いろは呑^{どんりゅう}龍トンネルなど、下水道雨水対策を集中的に推進するとともに、京都府南部地域における急速な開発を支えるため、下水処理場の増強に必要な予算を確保いただきたい。併せて、老朽化施設の改築更新を交付金の重点配分とするなど計画的な改築更新に必要な予算を確保いただきたい。

【現状・課題等】

■下水道事業（雨水対策）

- ・京都府では、近年激甚化・頻発化する豪雨や都市浸水に備え、大規模地下貯留施設であるいろは呑龍トンネル事業（令和3年暫定供用、令和5年度完成予定）や市町の浸水対策事業により、浸水対策を強力に推進することが重要

■下水道事業（汚水対策）

- ・新名神高速道路の整備や関西文化学術研究都市の開発に伴い、ここ数年で府南部地域での開発が進む一方で、これらの開発に伴う汚水量が急激に増加し、洛南浄化センターの処理能力が逼迫
- ・洛南浄化センターの処理能力の増強工事（水処理施設E1系増設）の令和4年度完成が必要

■汚水施設の老朽化対策

- ・財政制度等審議会の建議を背景に、平成30年度から老朽化施設の改築更新は交付金の重点配分の対象外に変更
- ・施設の老朽化が進む中、国庫補助が更に削減されれば、計画的な改築更新が実施できず、下水処理の機能停止や下流（大阪・兵庫）の水道水源の水質悪化を含め、広域にわたり住民生活に重大な影響が出るおそれ

■今後10年間の流域下水道予算の見通し

- ・京都府では、将来にわたって安定的に下水道事業を継続していくため、中長期的な基本計画となる経営戦略を策定中
- ・府南部地域の都市開発に伴う施設増設等の新規投資に加え、長期的に施設を健全に維持するために必要な改築更新を行うため、毎年概ね82億円が必要と試算

京都府 の担当課	建設交通部 水環境対策課(075-414-5206)
-------------	----------------------------

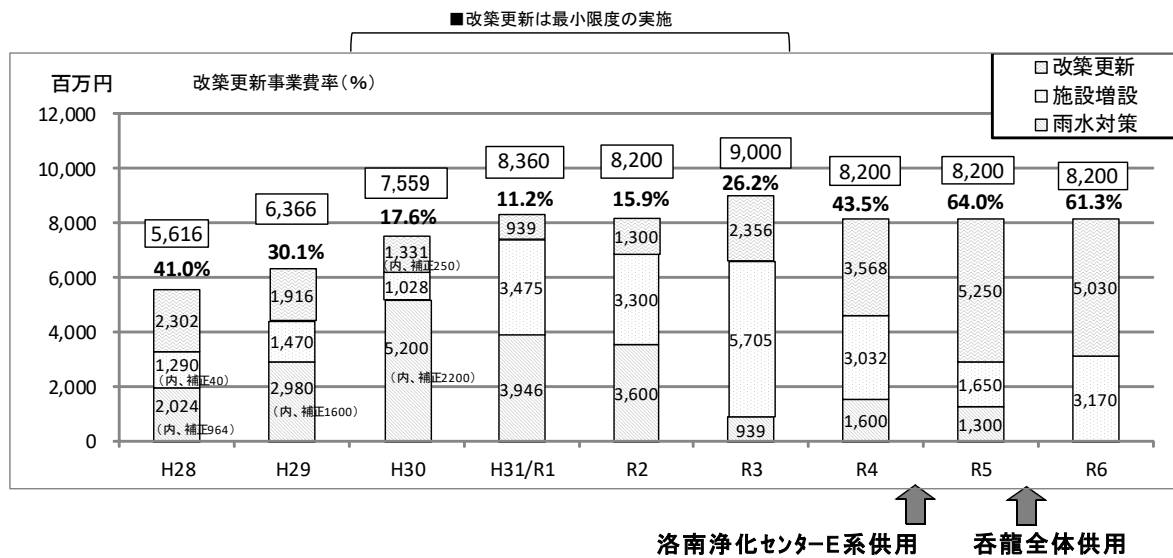
【国の事業等】

■概算要求〔国土交通省〕

- ▶ 社会資本総合整備交付金 15,125億円（令和2年度予算15,125億円）
- ▶ 下水道事業費 297億円（令和2年度予算297億円）

■京都府流域下水道事業における事業費の推移と見通し

- ・ 令和3年度までは事業のピークが重なり、施設増設及び雨水対策に多額の事業費が必要。そのため改築更新は最低限に抑えているが、本来は60億円規模の改築更新費が必要であり、令和4年度以降大幅に増額していく必要がある。



■洛南浄化センターの流入下水（晴天時水量）の推移

- ・ 府南部地域のまちづくりの進展に伴う汚水量の増加により、処理能力が逼迫
- ・ 今後も大規模開発が多数控えており、引き続き増加が見込まれる。

